

令和7年度 学校の教育目標

共に輝け!!
八中生

八幡浜市立八幡浜中学校

八幡浜中学校「校長だより」 No.6

校訓

誠実 情熱 団結

書：竹上広子先生 令和7年6月30日(月)

6/23 講演会(株式会社植松電機 代表取締役 植松努さん)

講師は、北海道から来ていただいた、株式会社植松電機 代表取締役の植松努さんです。あの「下町ロケット」のモデルとなった方です。小さいころから紙飛行機が好きで、大学で流体力学を専攻されました。名古屋の航空宇宙産業で働いたのち北海道に戻り、リサイクルマグネットを開発し、株式会社植松電機を起業されました。北海道大学で、ロケットエンジンの研究をしていた永田先生との出会いをきっかけに、現在は様々な宇宙開発に関わり、全国の大学生や研究者を技術的にサポートしておられます。



講演の中で、人の自信と可能性を奪われない社会を目指したいという思いで、自分の体験を基に、どのようにすれば夢を実現することができるかについて、お話されました。大変興味深く、心に染み入る講演でした。

- 思いは招く。夢があれば何でもできる。夢には、大きい小さいはない。いろいろな夢をたくさん持ってほしい。
- 不安の向こうに喜びがある。ほんのちょっとした勇気で、人生を変えることができる。
- 人との出会いには、意味がある。人との出会いで、簡単に変わる。未来は変えられる。
- 足りないからこそ、助け合える。足りない自分やできない自分をダメだと思ふ必要はない。助け合ったら、一人ではできないことが、できるようになる。勇気を出して頼ろう。弱音を吐こう。
- 奇跡を起こすキーワード・・・「違う」は「すてき」
- 誰もやったことがない。「知りたい」「やってみたい」これがあれば、何でもできる。
- できるわけないと思っていたことができた。これが小さな自信になる。失敗はだめじゃない。失敗はデータ。「どうすれば成功することができるか」を考える基になる。
- 嫌なことを我慢しないで。どうしたらいいのか考えたら、発明になる。考える人は、やりたがりです。諦めないで、工夫する人である。
- お金があったら、本を買いなさい。本はたくさんの方を教えることができる。
- 諦め方を知らない人は、諦めない。諦めずに、勇気を出して、自分の夢を、周りの人にどんどんしゃべる。すると、自分と同じ夢を実現した人と、仲良くなれる。その人の力を借りながら、自分の夢を実現することができる。
- 大好きなことが、人生のパワーになる。大好きなことは、仲間を増やし、力を増やし、可能性を増やす。人とのつながりが、夢をかなえてくれる。
- 思うは招く。「だったら、こうしてみたら」で夢はかなう。



講演の後、グラウンドでロケットの打ち上げが行われました。生憎の雨でしたが、小・中・大の3種類のロケットは、打ち上げに成功しました。(打ち上げに使用されたロケットは、休日に代表生徒と教頭先生が製作しました。)そして、打ち上げ後にロケットから出されたパラシュートによって、ゆらゆらと地上に戻ってきました。歓声と拍手が巻き起こりました。

八中生に貴重な体験をさせていただいた植松努さん、ありがとうございました。また、この講演会の実現にご尽力いただきました「向かい風をつかむ会」代表の三好美覚先生、八幡浜市教育委員会、八幡浜中学校PTAに感謝を申し上げます。さらに、講演会にお越しいただいた地域の皆様、ありがとうございました。
(文責 河野 靖)